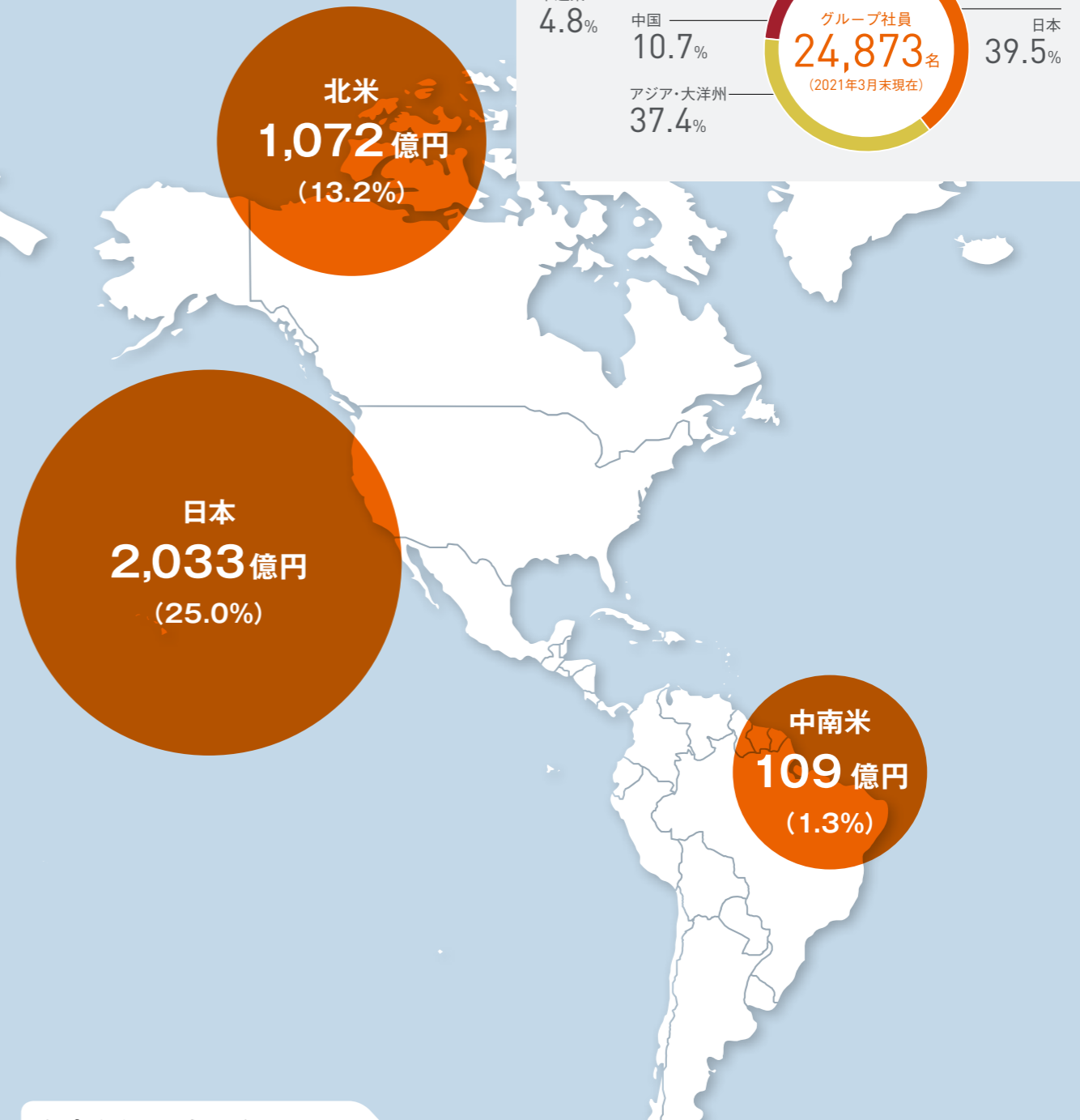


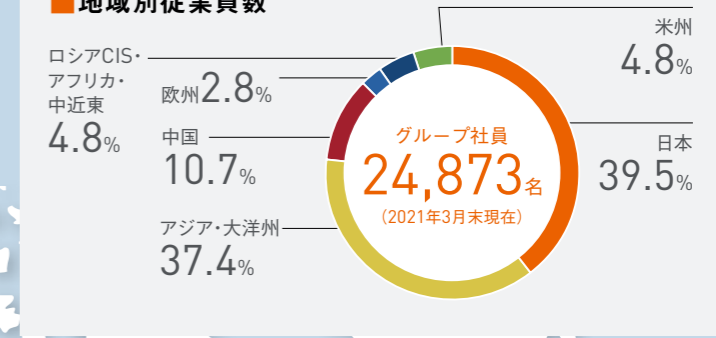
建設機械を取り巻く事業環境

めまぐるしく変わり続ける社会の中で、日立建機グループが対応すべき課題も刻々と変化し続けています。私たちは自社の持続的な成長にとってのリスクと機会を的確に捉え、社会課題あるいはお客さまの現場の課題の解決に貢献する製品・サービスを、迅速に提供していくことが使命であると考えています。

■地域別売上収益(連結)



■地域別従業員数



グローバルな社会課題

地球温暖化の進行

気候変動に関する政府間パネル(IPCC)第5次評価報告書によると、有効な温暖化対策が実行されなかった場合、21世紀末の世界平均気温は2.6~4.8℃上昇する可能性が高いと言われています。そして地球温暖化による気候変動は、自然災害や食糧危機などの被害をもたらすと懸念されています。

資源の大量消費と枯渇

世界人口の増加と経済発展を背景に資源需要は伸び続けており、化石燃料や鉱物、水など天然資源の枯渇が懸念されています。天然資源の消費を抑制しつつ、循環資源を有効に利用していくことが求められており、資源循環型社会経済へ向けた切り替えが大きな課題となっています。

自然災害に強いインフラの整備

近年、地震や津波、台風、ハリケーンやサイクロンなど、自然現象に起因する災害が世界中で頻発し、多くの人々の命を奪っています。今後、想定される自然災害の頻発・激甚化を踏まえた強靱なインフラの構築が求められています。

お客さまの現場における課題

労働人口不足に起因する安全性の低下

少子高齢化を背景に労働力不足が社会問題となっています。労働の担い手が減少すると、安全の確保が十分でない状態で作業を行うなど、重大な事故につながる可能性があります。人と巨大な建設機械が近距離で共存する建設現場や鉱山開発現場では、特に安全性の向上は避けられない課題です。

労働人口不足に起因する生産性の低下

建設業界では人材不足が深刻化し、熟練した技術を持つ高齢層から若手への技術継承が十分に行われていないことが大きな課題となっています。働き方改革が進む中で、組織の生産性を上げていくためには、ICTやIoT技術をいかに活用していくかが鍵となります。

ライフサイクルコストの低減

建設機械はお客さまにとって設備機械であるため、いかに稼働率を高め、ライフサイクル全体のコストを低減することが重要です。信頼性の高い機械を提供することはもちろん、トラブルにつながる予兆を早期に把握し、適切なアドバイスを提供することにも力を入れる必要があります。